



United Technologies

倫理規範

信賴-尊敬-誠實



公約

UTCの公約とは、我々は誰なのか、どのように仕事を行うのかを定義するもので、UTCのビジネスの焦点を定め我々を前向きに動かすものです。

遂行

当社の顧客には選択の余地があります。当社がどのように仕事を遂行するかにより、顧客が当社を選ぶかどうかが決まります。当社は志を高くもち、意欲的な目標を掲げ、成果を獲得、必要に応じて顧客のフィードバックによる再査定を行います。迅速に行動し、良く考えた上での決定をタイムリーに行います。当社の将来がそれらにかかっているからです。当社は必要とあれば、関係顧客や任務に最も密接に関わる者で権威のある者をその分野に専任させる用意もあります。

革新

当社は研究開発への公約により培われたアイデアの会社です。当社の創設者が残した功績は、我々のインスピレーションとなり、絶えず革新的で力強いしかも市場性のある次のアイデアへと鼓舞します。当社はアイデアをオープンに探求し、分かち合い、異なる経験や意見を尊重します。

機会

社員のアイデアとインスピレーションは、絶えず無限にチャンスを創造します。当社は会社として又社員個人としても、行動すべてにおいて常に改善を行います。知識と能力を広げ、社外の世界に関与するため生涯学習を支援し、社員にそれを求めます。信頼があるからリスクを物ともせず、経験に挑み、お互い協力し、いつも自分の行為のもたらす結果から学びます。

責任

成功するビジネスは、人間社会の状況を改善するものです。当社はいかなる場所でも最高の倫理、環境、安全基準を維持し、地域社会における社員の積極的役割を励まし祝福するものです。

結果

当社は、どのような経済環境であれ積極的な目標を達成するので、人々から好まれる投資の対象となっています。当社は投資家と正直で率直なコミュニケーションを行い、約束したことは達成します。当社は現実主義者と楽観主義者の会社であり、すべての行為にこのような価値観を投影させます。

CEOからのメッセージ

パフォーマンス カルチャーを支える倫理規範の重要性

UTC社員各位

UTCのコミットメントによって、私達自身も私達の仕事の進め方も定まります。UTCの第一のコミットメントはパフォーマンス（能力や実績）です。私達は、顧客には選択肢があること、そしてその選択肢の中から顧客が当社を選択するかどうかは私達のパフォーマンスによって決まるということを知っています。

UTCのパフォーマンスに対するコミットメントの根本にある基本的原則は、法的要件を満たすこと、財務諸表が完全かつ正確であること、顧客及び他の利害関係者を公平に扱うことです。簡単に言えば、これらの要件を満たさずしてパフォーマンスを達成することはできません。

「UTC倫理規範」が求めているのは法の遵守だけではありません。この倫理規範は、信頼を築き、敬意を育て、インテグリティ（高潔さ）を示すポジティブな行動へのコミットメントを求めています。私達は当社のコミットメントを尊重し、オープンに伝えると共に、責任を持ってそれを果たします。同規範の枠組みの中で運営することにより、UTCはその利害関係者のための価値を創出し、維持します。

「UTC倫理規範」に関する質問や懸念があれば、直属の上司、人事部長、またはビジネス・プラクティス・オフィサーに相談してください。問題を秘密扱いとしたい場合は、オンブズマンに連絡をするかDIALOG宛に書面を送ってください。

UTCの成功は私達全員の努力にかかっています。共に努力することにより、当社のパフォーマンス カルチャーの基礎を成す倫理を確保することができます。

敬具、



A handwritten signature in black ink, which appears to be "Louis R. Chênevert". The signature is fluid and stylized, with the first name being the most prominent.

会長兼CEO（最高経営責任者）Louis R. Chênevert

目次

概観.....	3
当社の原則 — いかに関定を行うか.....	4-5
当社の行為基準 — いかに関動するか.....	6-15
1. 品質及び安全.....	6
2. マーケティング及び販売.....	6
3. 他者に属する情報の保護.....	7
4. 当社資産の保護.....	7
5. 記録の正確性.....	8
6. 政府による調達.....	8
7. 雇用の機会均等.....	8
8. 職場の環境.....	9
9. 社員のプライバシー.....	10
10. 社員のコミュニケーション.....	10
11. 社員の育成.....	10
12. 報酬及び手当.....	10
13. 利害の対立.....	10
14. 有価証券の売買及び主要非公開情報の公示.....	11
15. 代理人.....	12
16. パートナー及びサプライヤ.....	12
17. 株主とのコミュニケーション.....	12
18. 環境保護.....	12
19. コミュニティへの支援.....	13
20. 政治過程への参加.....	13
21. 国際貿易.....	14
22. 独占禁止法.....	14
23. 地域の法律及び慣習.....	15
24. 市民権及び人権.....	15
当社の倫理規範 — いかに関守するか.....	16-17
当社の倫理規範 — いかに関守するか.....	16
質問する及び関心事の提起.....	16-17
倫理規範の実践.....	17
索引.....	18-19
注.....	20

概観

UTC倫理規範は、世界中のUTC及びその管理下の会社に適用されます。当社の行為を管理する規則を明記することに加えて、本規範は基本的な価値観の表明でもあり、決定を行うための枠組みを示すものです。本規範は、規範補則及び会社方針書又は財務方針書に含まれている方針により更に説明、実施されます。

以下が、UTCの倫理的ビジネス実践を支える基盤となります：

- 我々は法に従う。
- 我々は善意で行動する。
- 我々の決定が株主に与える影響を考慮して、公平な解決策を求める。
- 我々は株主とオープン、効果的なコミュニケーションを行う。
- 我々はいつも信頼を培い、尊敬の心を忘れず、誠実に行動する。

UTCの誠実性、名声及び利潤性は、究極的には、世界中にいる当社取締役、役員、社員そして代理人の行為にかかっています。各自が個人的に本規範を遵守する責任を負っています。



当社の原則 — いかに決定を行うか

UTCは、最高水準の倫理と業務の遂行に従うことを誓います。

UTCは、法を遵守し、約束を守り、誠意をもって行動し、その価値観を保持し、株主の利益促進を目指し、開かれた効果的なコミュニケーションを実行するとともに、自らに説明責任を課します。

望ましい結果を得るために、UTCの意思決定プロセスでは次の各ステップを実行します。

- (1) 適材を適所で使う、(2) 事実を把握する、(3) 法的な要件と「倫理規範」の基準を理解する、(4) 利害関係者に対する義務と、各種の決断の及ぼす影響を考慮する、(5) 会社の価値観に照らし、いくつかの異なる決断を比較する、(6) 最良と思える合法的な暫定的決断を下す、(7) 「ほんとうに実行すべきか」と自問する。

顧客

当社の製品及びサービスを使用する人々に対して、当社は高い品質と価値、競争力のある価格、正直な取引を提供します。合法的、倫理的に顧客に対応します。

社員

当社は社員を公平に取り扱い、すべての社員を機会均等に基つき雇用します。当社は尊厳と尊敬心をもって社員のプライバシーを大切にします。すべての社員に対して、安全、健康的な作業条件及びオープンなコミュニケーションでの環境を提供することを公約します。



サプライヤー及びパートナー

当社のサプライヤー及びパートナーには、公平に対処します。差別や偽りのない、長続きするビジネス関係を追求します。

株主

当社は株主の皆様の高い収益を提供するよう努力します。当社の資源を慎重に使い、保護し、すべてのビジネス取引において最高の法的・倫理的基準を遵守することにより株主の投資価値を守ります。

競合会社

当社の競争力のあるビジネスオファーの有利性を楯に、精力的に、独力で、しかも公平に競争します。

当社の公約

我々は世界中で当社の活動する地域社会における責任ある企業市民です。その国の法律及び地域の条例をすべて守り、天然資源の保護、社員の市民活動や博愛活動を奨励、又企業としても慈善活動に従事し、健全な地域社会の幸福向上のために尽くします。



当社の行為基準 — いかに行動するか

以下の行為基準は、倫理的行動で当社が最低限期待することを定義しています。行為基準であらゆる特定状況を予想することは出来ませんので、当社が事業を行う地元の法律その他管轄法の枠組みの中で、並びにUTCの公約、原則、規範補則、その他方針及び常識に照らして解釈し、適用していかなければなりません。「誰でもしているから」「不法ではない」等の理由は、本規範に違反するので受け入れることは出来ません。業務内外で、UTCの信用を落とすような不適当な又は不正行為についてはもちろんのこと、少しでもそのように見える状況及び行為をいつも避けるよう心がける必要があります。

1. 品質及び安全

UTC製品は、顧客、ユーザー、社員、その他関係者の安全と健康に主に配慮して設計、製造、配送しなければなりません。

UTC事業体では、よい品質の製品を設計、製造、配送する責任があります。要請される検査及び試験はすべて適正に行わなければなりません。

この規格は、「品質保証プログラム」及び「製品及びサービスの安全プログラム」と題するUTCの方針書で説明しています。

2. マーケティング及び販売

UTCは、当社製品及びサービスの有利性に基づきグローバル市場で競争します。当社は製品及びサービスを正直に販売し、非合法的にならざるをえないような、又は本規範に違反するような販売を追及することはありません。

競合会社と比較する場合は、不正確な声明により競争相手をけなすことがないように注意すべきです。

UTCの代理人として行為を行う者はすべて、不適正な支払いに関係する法律を守ります。米国外の第三者により行われる販売及びマーケティング・サービスは、「米国外の販売代理人」と題するUTC方針書にしたがう必要があります。

慣習的で適正な頻度・価格で行われるビジネス・ギフトは一般に許されます。優遇される対応を得るための交換条件としての贈物、又は受理側又はその雇用主が方針として禁止しているような贈物は、いかなる場合でも許されません。

UTCは賄賂提供又はそのための支払いは絶対に行いません。

ビジネス・ギフトについては、「ビジネス・ギフトの授受」と題する倫理規範補足書で説明しています。

3. 他者に属する情報の保護

UTC は、顧客、サプライヤー及び第三者の合法的財産権及び営業秘密を尊重します。UTCは、当社の方針書「財産的情報の保護」及び「ソフト・ライセンスの遵守」に適合することによってのみ他者に属する財産的情報を求め、受け入れ、使用、開示します。

きわめて競争的なグローバル市場にて、競合する者及び競合製品・サービスの情報を集めることは、必要かつ経常的業務となっています。競合情報を集めるにあたり、当社は窃盗又は欺くような不適正手段に訴えたりはしません。「競合情報の収集」と題する本規範補足書を参照してください。

当社インターネットやその他サイトを訪れる顧客、サプライヤー、その他閲覧者から収集する個人情報とは、「オンラインで収集する個人情報のプライバシー」と題するUTC方針書に従い保護されます。

4. 会社資産の保護

有形資産（例えば施設、金銭、設備、情報技術システム等）及び無形資産（知的財産権、営業秘密、発明開示、ビジネス及び技術に関わる高度な機密情報、コンピュータ・プログラム、ビジネス及び製造ノウハウ等）を含むUTC資産は、適正に、しかも経営陣からの許可を持って活用します。UTC資産を個人的な利得のために使用してはいけません。すべてのビジネス取引は経営陣の許可を必要とし、社内の署名規定に従い、社内審査認可手順に適合していなければなりません。

よくある質問...

Q: なぜ製品の安全性がそんなに重要なのですか。

A: 他人のたちに身体的な危害を加えないように努力するのは最も中核的な価値観のひとつだからです。

Q: 贈賄はなぜいけないのですか。

A: 誠実に行動するという義務に反し、信頼感を破壊する贈賄は、どこでも違法行為となっています。また贈賄は、本来品質や価格といった利点に基づくべき決断の基準を変えてしまうため、市場ベースの経済の機能を妨げます。UTCは、優れた革新性と生産性で実績を上げています。従ってUTCは、効果的かつ効率的に機能する市場でこそ実力を発揮できるのです。

要約すると...

- 当社は世の中の人々が信頼できるような製品の設計、製造、サービスを行います。
- 当社は当社製品・サービスの有利性に基づき競争します。
- 当社は当社製品・サービスを正直に販売します。
- 当社はUTC資産を保護します。

当社の行為基準 — いかに行動するか

更なるガイダンスについては、UTC知的財産契約書、UTC方針書「財産的情報の保護」及びUTC会社方針書及び財務方針書で説明しています。

5. 記録の正確性

すべて資産、負債、収益、費用及びビジネス取引は、当社帳簿・記録に、該当する法律、会計原則、及び当社の財務方針・手順に従い完全、正確に記録します。予算案及び経済評価は、要請・推薦される決定事項に関するすべての情報を公平に表明するものでなければなりません。いかなる目的であれ、秘密又は記録無しのキャッシュ又は資産を維持してはいけません。

当社は顧客及びサプライヤーに間違いがあれば通告、クレジット付与、払い戻し、その他相互に受け入れられる方法で迅速に是正します。

記録やデータの保存及び廃棄は「記録及びデータの保存」と題するUTC方針書及び該当する法の規制に従い行わなければなりません。

6. 政府による調達

UTCは当社の世界中の政府関係調達ビジネスに該当する場合、調達法及び規制を遵守します。

当社は米国政府との契約に該当する独自の特別規制に特別な注意を払います。いつでも当社は政府の競争規則に従い、政府に雇われている役人に適用される制約規制（贈物及び雇用等）を尊重し、製品及びサービスを仕様書に従い提供し、政府の会計及び価格要項を守り、許される価格のみをつけ、提出するデータの正確性を保証します。

当社の「米国政府との契約でのビジネス倫理及び行為についての方針声明」は、特定のガイドライン及び要項を説明しています。

7. 雇用の機会均等

UTCは、社員及び就職申込者を当社の合法的なビジネス関心事のみに基礎を置いて公平に取り扱います。「雇用の均等/格差是正優先措置」と題する当社の方針書で、ガイドライン及び要項を説明しています。

UTCは、当社の労働力の質と能力にこそ、会社として持続性のある競争力をもてると常に確信できるよう努力し、「労働力の多様性を管理する」と題する方針書で説明するように、労働力の多様性を育む主導性を支持しております。

8. 職場の環境

UTCは社員に安全及び健康の面で危険物のない職場及び差別、嫌がらせ、又は生産性のある作業環境に反するような個人行動の無い職場環境を提供することを公約しています。

世界中のUTC組織は、アルコール、麻薬、その他規制されている物質の所持又は使用について該当する法律・規制に従います。

地域の法律に従い、又人事部（UTC本部での、その主要なビジネス・セグメントの1つ又は直接報告する義務のあるビジネス単位）の認可により、地域の経営陣はUTC構内でアルコール類を出していいかどうかを決定する権利を有します。UTCは、社員及び他の者が会社構内で泥酔することを禁じます。

UTCは、規制されている麻薬を会社構内で、使用、販売、購入、譲渡、所持、又は体内に含有することを禁止しています。もちろん、医療上合法的に処方された薬は禁止されておりません。

よくある質問...

Q: なぜUTCは正確な記録の維持にこだわるのですか。

A: UTCはパフォーマンスを極めて重視していますが、不正確な記録ではパフォーマンスの内容がきちんと伝わらないからです。

Q: 政府との取引は民間企業との取引とどう違うのですか。

A: 政府は公金を使うため、極めて規範的で詳細な規則が何重にも定められています。こうした規則は、公正な入札、公正な価格設定、そして品質基準を確保するためのものです。概して政府との事業取引は、民間企業との取引より柔軟性に欠け、規則違反があれば厳しい罰則が科される可能性があります。UTCは政府の規則に従い、国民の信頼に応える努力をします。

要約すると...

- 当社は正確で完全な記録を維持します。
- 当社は政府による調達の特例な規制に厳密に従います。
- 当社はお互いを公平に、尊敬心を持って取り扱います。
- 当社は職場の安全をどこまでも追及します。

当社の行為基準 — いかに行動するか

アルコール中毒、麻薬依存、その他重大な個人的・感情的問題がある場合は、支援及び対応処置を受けることができます。

更なる情報は、「麻薬、アルコール、規制物質の乱用」と題する方針書で説明しています。「社員支援プログラム」と題する方針書で支援及び対処のための機会が説明されています。

9. 社員のプライバシー

UTCは社員のプライバシーの権利を尊重します。

当社は社員の個人情報を収集、使用、開示するすべての管轄地域にて該当する法律に従います。「社員の個人情報」と題する方針書で更に説明しています。

UTCとは関係の無い私的な行為は、その行為により社員としての業務成績が下がり、会社の名誉又は正当なビジネス利益を傷つけるような場合は別とし、当社の関心事ではありません。

10. 社員のコミュニケーション

UTCは、営業結果、製品性能、顧客関係及び社員成績等、タイムリーな情報を社員に提供します。社員の意見、態度、関心事等についての自己表明及びオープンな討議を奨励するためのコミュニケーション手段が提供されます。その1つは、通常一年おきに行われる社員調査で、報酬、経営陣の成績、及びビジネス倫理等広範囲に渡った課題について意見を求めるものです。

11. 社員の育成

UTCは、社員の職務上の技能の向上と拡大、及び生涯学習を援助することによって、社員育成の促進に力を入れています。従来の学習・研修に加えて、UTCでは「社員奨学プログラム」を設けて社員の育成を促進しています。このプログラムでは、UTC承認の教育機関で学位取得を目指している有資格の社員を対象に、UTCが特定のコストを負担します。詳しい情報、及び条件や制限の詳細については、UTCの方針書「社員奨学プログラム」に記載されています。

12. 報酬及び手当

UTCは世界市場にて競争力のある報酬及び福利厚生プログラムにより、有能で献身的な人々を引きつけ、動機付け、維持します。

13. 利害の対立

UTCの取締役、役員、社員及び代理人はUTCに忠誠を尽くす必要があります。個人とUTCの利害が表面的に対立するかのように見えることですら避けるよう、サプライヤー、顧客及びその他の者に対処しなければなりません。「利害の対立」と題するUTCの方針書で更に利害の対立を説明、特定の課題での指導を提供、利害の対立がありそうな場合の解決手順を解説しています。

以下のことが説明されています：

- 当社のサプライヤー、顧客又は競合会社への直接又は間接的財務所有権又は株式所有権；
- サプライヤー、顧客、その他の取引相手、又はUTCと取引したい相手との関係で、贈物又はいかなる形でも報酬を求めたり、受け取ったりすること（「サプライヤーからのビジネス・ギフト」と題する本規範補則を参照のこと）；
- 他の会社又は組織の取締役となったり、雇用されたり、又は奉仕活動を提供すること；及び
- 会社資産の個人的使用（例えば、有形資産、財産的情報、非公開情報、ビジネス・チャンス等を含む）。

実際利害の対立がある、又は可能性がある場合は、UTCの審査を求めてそれを開示しなければなりません。疑いがある場合も、ビジネス・プラクティス・オフィサーから指導を受けてください。

14. 有価証券の売買及び主要非公開情報の開示

UTCの取締役、役員、社員及び代理人は、重要な非公開情報（UTCにより開示されていないと理解されている情報で、投資家が投資決定を行う際重要と見なすような情報）の機密を保持しなければなりません。そのような情報はUTC上級役員など指定スポークスマンを通してのみ開示されます。

よくある質問...

Q: UTCは社員のプライバシーをどのように保護していますか。

A: UTCでは、個人情報を「社内個人情報」として保護しています。すなわち、こうした情報は不当に使用されたり公開されたりしないように保護され、当社は下請会社に対しても同様の措置を求めます。またUTCは社員に対して、個人情報の収集・使用の目的を概説し、そうした情報の使用制限のオプションについても説明します。UTCは、その内容に従って個人情報を収集、使用、開示、及び譲渡します。

Q: UTCでは、社員への贈答がなぜ問題になるのですか。

A: UTCと取引をしようとする人々からの贈答は、UTC社員の判断や行動に影響を与える可能性があるからです。事前にビジネス・プラクティス・オフィスの許可を取れば、問題を避けることができます。

要約すると...

- 当社は株主と正直にコミュニケーションします。
- 当社は生涯学習を支援し、追及します。
- 我々はUTCに忠誠を尽くし、利害の対立を避けます。
- 我々は情報を適正に使用し、保護します。

当社の行為基準 — いかに行動するか

UTCの取締役、役員、社員及び代理人（その直属家族も含めて）は重大な非公開情報について知っている場合、関係する有価証券の売買、その他の取引をしてはいけません。

これらの指針については「有価証券の売買及び主要公開情報の開示」で説明しています。

15. 代理人

UTCのすべての代理人（取締役、役員、社員に加えて）は、当社の代理人として行動し、本規範に従い行動しなければなりません。

当社は、本規範で規定する基準の抜け道を考えるような代理人は使用しません。

16. パートナー 及び サプライヤー

当社は機器、支給品及びサービスを有利性に基づいて購入します。UTCのパートナー、サプライヤー、ベンダー、サブコンは、公平、誠実に対処し、差別をしません。

サプライヤー又はサプライヤー候補に接する者は「利害の対立」に関するUTC方針書及び「サプライヤーからのビジネス・ギフト」と題する本規範補則に従う必要があります。

UTCの「多様なビジネスと契約する」で明記している方針に従い、小企業、少数民族、女性、帰還兵が所有するビジネス、歴史的に不利な立場にあるビジネスを最大限活用し、サプライヤー、サブコンとして彼らを起用するよう努めます。

17. 株主とのコミュニケーション

UTCは、ビジネス情報の一般への開示に関するすべての法律・法規・規定に従います。定期報告書、ファイリング、公表コミュニケーション（口頭又は文書）はすべて完全、公平、正確、タイムリーで、理解しやすく、脱落がないよう行います。一般への開示はすべてUTCの方針書「有価証券の売買及び主要非公開情報の開示」、「米国有価証券法に基づく投資家向け開示」及び「企業ガバナンス（統治）及び財務データの維持」に従って行います。

18. 環境保護

UTCは、世界中で自然環境を守るように事業を行います。必要な許認可をすべて取得し、許認可の規定条件を守り、廃棄物を最小限にするよう努力します。UTC組織はすべて、事業、製品設計及び製造を「環境、健康及び安全」と題する当社方針書に従って行います。

19. 地域社会への支援

UTCは事業を行う世界各地の地域社会の組織及び活動を支援します。価値ある市民活動、慈善運動を支援し、社員も個人的に参加するよう奨励します。UTCの方針書「慈善活動・事業への貢献」を参照ください。

20. 政治活動への参加

UTCは当社が政治に参加するにあたり、政党、政治委員会、候補者への献金の限度等に関する国、州及び地域の関係諸法すべてに従います。

当社の代理人として政党、候補者、選任された役人、公務員等に接触する者は、関係諸法及び当社の方針（本規範及び「政府との関係」と題する当社方針書を含む）に完全に従わなければなりません。

UTCは賄賂の申し出、支払いをしません。

UTCは、取締役、役員及び社員が十分に情報を得た上で投票し、政治活動に参加することを奨励します。自身の時間または金銭の貢献により政治活動へ個人的に参加することは、個人の決定によるもので、完全に自由意思です。

よくある質問...

Q: UTCは、なぜ世界各地で厳しい環境基準を課しているのですか。

A: 厳しい環境基準に従って事業を行うことは、今日そして将来の当社の社員や地域の人々の健康を促進し維持するための基本です。従ってUTCでは、世界各地のUTC施設、サプライチェーン、および製品による大気への排出、エネルギーや水の消費、廃棄物や懸念される物質などの抑制に関して、厳しい目標を設定しています。

Q: 行動規範で引用されている方針の原文はどこに載っているのですか。

A: ビジネス・プラクティス・ホームページにUTC企業方針マニュアルが掲載されています。

要約すると...

- 我々は本規範にそむきません。
- 当社はサプライヤーを公平に扱い、尊重します。
- 当社は地域社会の生活の質を高めます。
- 当社は自然環境を保護します。

当社の行為基準 — いかに行動するか

21. 国際貿易

様々な政府及び多国籍組織は、特定の商品、製品、技術データ及びサービスの国際的動きを統制し、部分的または全面的な貿易禁止策を取り、特定国、組織、個人を標的に経済制裁を行ったりします。

このような統制は、輸出入、財務取引、投資、その他ビジネス取引に適用されます。当社は関係法律を完全に守ります。我々は技術データの輸出が電子的、口頭、視覚的に行われ、国と国との間で技術データの移動の無い所でも輸出が行われるということを忘れてはいけません。国によっては、最初の仕向け地を越える場合その品目の再輸出を禁止、管理するところもあります。

「輸出入管理及び経済制裁」と題する当社の方針書で特定の指針を提供しています。又「国際貿易管理：遵守のためのガイド」と題する本規範補則を参照ください。

当社の世界中の事業組織は「米国反ボイコット法遵守」と題する当社の方針書を守ります。

22. 独占禁止法

UTCは、当社が事業を行うすべての地域で独占禁止法（通常「競争法」として知られている）を遵守します。入札談合を致しません。価格協定もしません。市場分割もしません。市場での優越的地位の乱用もしません。

UTCの方針書「独占禁止法遵守」で、当社の製品及びサービスについてのマーケティング販売に関して、競争相手とのコミュニケーションの際の特定の禁止事項を説明しています。例えば、我々は価格、コスト、利益又は市場戦略については競合相手と話し合いません。

「社員のための独占禁止ガイド」及び「EU競争法ガイド」と題する本規範補則も参照してください。事業者団体への参加に関するガイドラインも含まれています。

23. 地域の法律及び慣習

UTCは、世界中の市場でサービスを提供するグローバルな会社です。つまり、地域、国によって広く様々に異なる法律、文化基準、社会基準のもとでビジネスを行っています。

UTCは、当社がビジネスを行う国々、地域の法律を守ります。さまざまな国々の間で適用される法律で矛盾、対立がある場合は、当社法務部に相談しなければいけません。

UTCは、地域の基準とは関わり無く、他者による非合法的な行為や詐欺を、意図的に助長するようなことはしません。

24. 市民権及び人権

UTCは優良な市民でありたいと願っており、人との関わりによって人の状態は改善されると信じています。UTCは米国基準、現地基準、またはUTC方針の中から最も厳しい基準を採用し、世界中の当社社員のために安全かつ健全な労働環境を確保します。UTCは年少者労働または強制労働を使いません。UTCが活動する世界中の各地域社会のために、UTCは環境を保護し、当社製品の効率を最大限にし、廃棄物、排気・排出物、エネルギー消費、及び問題のある材料の使用を削減します。UTC倫理規範の他の項に明記されているように、UTCは法を遵守し、人事面において差別をせず、汚職に関わりません。UTC独自のコミットメントに加え、UTCは直接取引をする供給業者が適切な行動規範を採用することを期待します。これについては「企業市民」と題するUTC方針を参照してください。

よくある質問...

Q: 国外へ製品を出荷しない場合でも、国際貿易に関する規則を知っていなければならないのですか。

A: もちろんです。こうした規則は必ずしも常識だけで判断できるものではなく、例えば電子メールや会話にさえ適用される場合もあります。違反に対する罰則が厳しいため、これらの規則に関する必要な訓練を受け、専門家のアドバイスを受けるようにしてください。誰に質問すればよいかわからない場合は、ビジネス・プラクティス・オフィスに問い合わせてください。

Q: 談合はなぜいけないのですか。

A: 談合は、適切な製品を適切な価格で購入する顧客の権利を奪う不正行為です。また談合は、本来品質や価格に基づくべき決断を妨げるため、市場ベースの経済の機能を混乱させます。UTCは、優れた革新性と生産性によって実績を上げています。従ってUTCは、効果的かつ効率的に機能する市場でこそ実力を発揮できるのです。

要約すると...

- 本規範を単なる規則集という以上に遵守します。つまり本規範は、当社の公約を実行するためのガイドなのです。
- 我々は法に従い、善意で行動し、オープンなコミュニケーションを行い、公平な結果を求めます。
- 我々は質問をし、関心事を表明し、問題への注目をうながします。
- 単純に言えば、我々は信頼を育み、尊敬心を表明し、誠実に行動します。

倫理規範 — いかに遵守するか

倫理規範を遵守するにあたって

UTCの世界中にある各取締役、役員、社員及び代理人は本規範を遵守し、関係諸補則及び方針書に従わなければなりません。

UTCの各レベルのマネージャーは、オープンなコミュニケーションを奨励、倫理規範への自覚及び積極的参与の姿勢を育み、倫理的なビジネスを実践する文化を創造・育成する責任があります。

本規範及びその要件の遵守を怠った場合には、解雇を含む適切な懲罰が科されます。懲罰の決定は、関知する業務管理職がビジネス・プラクティス・オフィスと共に行い、その際には公正と衡平の原則が適用されます。

質問する及び 関心事の提起

本規範に関する質問、その具体的な状況への適用に関する質問、及び実際の違反または違反の疑いの報告は、命令系統のどのレベルにおいても提出することができるほか、法務部、ビジネス・プラクティス・オフィス、人事部に提出することもできます。またUTCオンブズマンやDIALOGを通じて質問や報告をすることもできます。解釈ガイダンスが正式なものとして認められるためには、事業部門のグローバル・ビジネス・プラクティス・オフィサー、UTCの地域ビジネス・プラクティス・オフィサー、またはビジネス・プラクティス担当バイスプレジデントとの協議が必要です。実際の違反または違反の疑いはすべて、ビジネス・プラクティス・オフィサー、法務部、またはオンブズマン/DIALOGに報告しなければなりません。そうした報告が禁止されている場合、または法律により制限されている場合には、その限りではありません。

1986年以来、代替コミュニケーションルートとしてオンブズマン/DIALOG制度を活用してきました。

オンブズマン/DIALOGは機密扱いされ（問題を提起した人物の身元を明かさない）、中立的であり（管理職も従業員も擁護しない）、独立しています（管理職と別個に運営）さらに、オンブズマン/DIALOGプログラムを通し、質問または懸念を匿名で提出することができます。

オンブズマン/DIALOGはコミュニケーションの仲介人としての役割のみを果たすのであって、管理職の責任において問題を調査し、プログラムを通して持ち上がった質問に答えます。オンブズマン/DIALOGは、団体交渉合意規定の対象となる問題または該当する法律によって制限される問題を除くあらゆる業務関連問題を処理します。オンブズマン/DIALOGを使用する人物の身元は、法廷により開示を義務付けられない限り、あるいは深刻な害が及ぶ危険がない限り、保護されます。オンブズマン/DIALOGコーディネータは倫理規範及び国際オンブズマン協会 (<http://www.ombudsassociation.org/standards/>) の実務基準に従います。

仲介人としての訓練を受けたUTCオンブズマンの主な連絡手段は電話ですので、当倫理規範末尾のフリーダイヤル電話番号を使って連絡してください。オンブズマンは、法律にかかわるもの又は調査を必要とする複雑な問題を扱うコミュニケーション仲介人として働きます。

DIALOGは、オンブズマンの直接の管理の元で運営されるもうひとつのプロセスです。DIALOGは書面による双方向コミュニケーション経路であり、比較的複雑でない問題に向いています。DIALOGは、用紙を郵送（この用紙は様々な作業領域に置かれているDIALOGボックスから入手可能）することにより世界中で利用できます。または、安全確実なコード化されたインターネットベースの電子システム（eDIALOG：<https://eDIALOG.confidential.utc.com>）を使用することもできます。機密性確保のため、会社のコンピュータはeDIALOG通信に使わないでください。

各取締役、役員、社員及び代理人は、本倫理規範又は補則及び方針の実施、その他法律又は規制の違反又は違反の疑いがある場合はいかなる場合でも、UTCの注意を喚起する個人的責任をもちます。UTCは、違反又は違反の疑いがあると正当に信じて報告する者すべてに対して、一切の報復を禁じます。更に、当社は、ビジネスでの方針又は実践に関係して、懸念を善意で表明する社員に報復を行うことを禁止します。しかしながら、誰であろうと、このようなコミュニケーション手段を用いて悪行を報告したとしても、その悪行の責任が回避されるということにはなりません。

UTC社員及びその他の者が、企業会計、内部会計管理、または監査事項に関して何らかの不審に気付いた場合は、郵便、E-メール、又はフリーダイヤル電話（UTCのウェブサイト www.utc.com に記載）で、UTCにその旨報告することができます。実際の違反または違反の疑いについては、オンブズマン/DIALOGで報告することができます。

倫理規範の実施

本倫理規範はUTC取締役会により採択され、世界中で利用されます。本規範で使用されているUTCとは、UTC管轄下の組織団体をも含みます。本規範はすべての取締役、役員、社員、代理人（コンサルタント、代理店を含む）に適用されます。

UTC副社長（ビジネス・プラクティス担当）は本規範を規範補則、会社方針書、（財務部と協力して）UTC財務方針書によって実施する責任があります。

本倫理規範、利害の対立、本規範実施のため発行された様々の方針書の全部又は一部の施行免除については、例外的状況においてのみ許され、しかもUTCビジネス・プラクティス担当副社長の認可を得た場合のみとします。取締役、上級役員の場合の免除については、UTCビジネス・プラクティス担当副社長と取締役会又は取締役委員会の両方の認可がなければならず、法律、規制及びUTC方針に従い直ちに開示されます。

索引

- 会計, 8, 17
- 記録の正確性, 2, 8
- 格差是正優先措置, 8
- アルコール 及び 麻薬, 10
- 独占禁止, 2, 14
- 質問する, 2, 16
- 資産, 7, 8, 11
- 賄賂, 6, 13
- ビジネス・プラクティス, 3, 11, 16, 17, 裏表紙
- 市民権, 15
- コミュニティ, 2, 4, 5, 13
- 報酬及び手当, 2, 10
- 競合情報, 7
- 利害の対立, 2, 10, 11, 12, 17
- 企業ガバナンス（統治）, 12
- 会社の責任—市民権を参照
- 顧客, 4, 6, 7, 8, 10, 11
- DIALOG, 16, 17, 裏表紙
- 取締役, 3, 10, 11, 12, 13, 17
- 開示, 7, 12
- 差別, 5, 9, 12
- 多様性, 8
- 麻薬、アルコール、規制物質の乱用, 10
- 選ばれた役人, 13
- 社員支援プログラム, 10
- 社員の育成, 2, 10
- 社員のプライバシー, 2, 10
- 社員奨学プログラム, 10
- 環境、健康及び安全, 12
- 雇用均等機会, 2, 8
- 輸出入管理及び経済制裁, 14
- 詐欺, 15
- ギフト, 6, 8, 11, 12
- 政府, 2, 8, 9, 13, 14
- 保健, 4, 6, 9, 12
- 人権, 15
- 不適正な支払い, 6
- 知的財産, 7, 8
- 国際貿易, 2, 14
- 投資家, 11, 12
- 政治過程への参加, 2, 13
- 法律及び慣習, 2, 15
- マーケティング及び販売, 2, 6
- オンブズマン, 16, 17, Back Cover
- パートナー, 2, 5, 12
- 慈善活動, 5, 9

政治活動, 13

プライバシー, 2, 4, 7, 10

調達, 2, 8, 9

専有情報, 7, 8, 11

当社資産の保護, 2, 7

情報保護, 2, 7

環境保護, 2, 12

品質及び安全, 2, 6

記録, 2, 8, 9

代表者, 2, 3, 6, 10, 11, 12, 17

報復, 17

有価証券の売買, 2, 11, 12

株主, 2, 4, 5, 12

サプライヤ, 2, 4, 5, 7, 8, 10, 11, 12, 13

ベンダー及びサブコン, 12

職場の環境, 2, 9

連絡情報

UTCビジネス・プラクティス

UTCビジネス・プラクティス・オフィサーは、世界各地のUTC事務所に配置されています。

UTC本部内のビジネス・プラクティス・オフィスへは、電話（860.728.6485）またはメール（bpo@corphq.utc.com）でご連絡ください。

オンブズマン/DIALOG

UTCオンブズマンへは、フリーダイヤル（800.871.9065）でご連絡ください。

米国外から電話をかける時には、まず発信元の国のAT&T直通アクセスコードを入力してください。国別のアクセスコードはwww.business.att.com/bt/access.jspで入手できます。

UTC社内で入手できるDIALOG問い合わせ用紙に記入して提出することもできます。または、暗号化された安全なインターネット接続で、<https://edialog.confidential.utc.com>からオンラインで提出することもできます。

その他の情報

本規範及び規範補足は、ウェブサイトwww.utc.comで一般に公開されています。また、社員向けに本規範、規範補足、及び企業方針マニュアルが、UTCイントラネットに掲載されています。

UTCの企業責任についてさらに詳しくはwww.utc.comで「企業責任」をクリックしてください。

本規範はビジネス・プラクティス・オフィスの出版物です。

United Technologies Corporation
United Technologies Building
Hartford, CT 06101 USA

この小冊子は、英語のほかに次の言語で出版されています：アラビア語、ブルガリア語、中国語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、エストニア語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ヘブライ語、ヒンディ語、ハンガリー語、インドネシア語、イタリア語、日本語、韓国語、マレー語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、スロバキア語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、タイ語、トルコ語、ウクライナ語、ベトナム語

United Technologies Corporation
United Technologies Building
Hartford, Connecticut 06101 USA

COE-JA 10/2010